

intertek

news

Vol.93

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 マネジメントシステムで再構築する強靱な組織の礎

02 特集 03 ISO 9001規格改訂要求事項(最終国際規格案)の全体像

04 News&Topics

- ▶ FSSC 22000 Version7 発表
- ▶ 新コース・セミナー案内:IATF 16949:2016品質強化/ISO 14001:2026移行対策
- ▶ レインフォレスト・アライアンス認証サービス開始
- ▶ Q&A

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(株式会社テロワール・アンド・トラディション・ジャパン)
- ▶ 連載よみもの「審査員の心理」(環境編)
「マネジメントレビュー(1)」

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「新しい発見も・・・」
(審査員 占部 真純)
- ▶ 環境よみもの「ゆらぐ時代と、つなぐ力」
「仕組みを『回す力』-内部監査とマネジメントレビューが
つなぐ実効性」

07 お客様からのお便り

- ▶ 「心豊かな庭造りとティーツリーオイル」
(株式会社津村造園)
- ▶ 「長年の技術で信頼に応え、抹茶粉砕へ」
(株式会社ペリカン)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぶく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(株式会社徳倉)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>



マネジメントシステムで再構築する強靱な組織の礎

営業部 西日本エリア 中部地区リーダー ふくだ なおたか 福田 直隆

近年、私たちのビジネスを取り巻く環境は、かつてないほどの不確実性に晒されています。激甚化する自然災害、巧妙さを増すサイバー攻撃、そして地政学リスクに伴うサプライチェーンの寸断。これら「想定外」の事態は、もはや「稀に起こる災厄」ではなく、経営における「常態的なリスク」へと変質しました。



こうした予測困難な時代において、改めてその真価が問われているのが、マネジメントシステムの根幹である ISO 9001 等の「リスク及び機会への取り組み」です。

多くの組織において、この項目は「毎年の審査のための事務作業」に陥ってはいないでしょうか。しかし、規格の本質は「不適合の発生を未然に防ぎ(予防)、顧客満足を維持すること」にあります。つまり、想定外の事態が起きてもなお、提供する価値を止めない「事業継続の思想」がその根底に流れているのです。

今、私たちが取り組むべきは、形式的なリスクアセスメントの脱却です。

- **供給網の死角を洗い出す**：代替調達先や物流ルート of 冗長性を、QMS のプロセスとして組み込む。
- **デジタル・レジリエンスの強化**：情報資産の保護を品質保証の前提条件と捉え直す。
- **変化を「機会」へ**：危機を乗り越える過程で見た無駄を省き、新たな標準(スタンダード)を構築する。

すべてを見通すことができない不確実性が常態化する中で、個別対応ではなく、あらゆる状況に耐えうる仕組み、すなわちマネジメントシステムとして備えることが、組織の強さを左右するのです。

7月、本格的な台風シーズンの到来や、下期に向けた事業計画の再点検を行うこの時期。こうした視点に立ち、貴社のマネジメントシステムを、単なる「適合性の証明」から、あらゆる荒波に抗い、持続的な成長を勝ち取るための「強力な経営武器」へと進化させてみませんか。

私たちは認証機関として、皆様の組織が「想定外」を乗り越え、さらなる信頼を築き上げるプロセスを共に歩んでまいります。